

たのしい たのしい 船穂校 ♪

倉敷市立船穂小学校

横山文朗

たかし君、痛かったじゃろ。

運動会が近づいてきましたね。連日晴れてしっかり練習できてよいけれど、子どもたちも指導されている先生方も、汗まみれほこりまみれになってがんばっています。

運動会の子どもの目標ってどんなものでしょうかね。「かけっこで一番になりたい。」「リレーで勝ちたい。」「優勝したい。」などと皆それぞれに考えていると思います。勝ちたい、一番になりたいと思うからこそ練習するのですから、この目標は大切です。

しかし、今年の運動会のテーマは、「赤白心を一つに全力出し切りがんばろう！」であって、勝つという言葉はありません。児童会の先生の指導があったのかもしれないけれど、子どもたちは、勝ちたいという目標以上に、集団への所属感を高めるとか、学級や学年の友だちと心のつながりを深めるといった、運動会の目的の大切さを理解しているのだと思います。

「おまえがこけなんだからリレーは勝つとんじゃ。そうすりゃ、優勝できたんじゃ。ボケ！」という意識ではなくて、「たかし君、痛かったじゃろ。血が出ててもがまんして走ったんじゃろ。わたし感動したわ！」という意識で、子どもたちが運動会をとらえてくれたらなと思います。

入場から閉会式まで全てが運動会です。かけっこやリレーや表現だけでなく、係の仕事をがんばっている姿や応援席で懸命に応援している姿にも目を向けていただければと思います。



